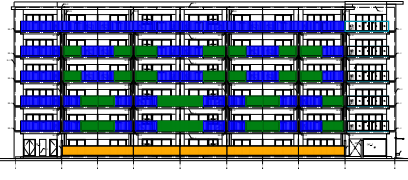


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	03-浜甲子園団地第IV期南工区建築その他工事(C種)	階数	地上6F
建設地	兵庫県西宮市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域指定なし(法22条区域)	平均居住人員	116人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2022年11月2日
敷地面積	2,304㎡	作成者	佐藤 藤
建築面積	597㎡	確認日	2022年11月2日
延床面積	2,636㎡	確認者	林孝行



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.1

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に緑地、駐輪場間にも広場や小道を確保し、隣工区と色彩計画、外観デザインをそそえ周辺環境に配慮した計画とした。</li> </ul>	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>シックハウス対策として、内装材にF☆☆☆☆のものを使用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備配管等を点検しやすいように、点検口等を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観アドバイザー会議やデザイン協議会を行い、周辺環境に配慮した計画とした。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能評価表示基準の省エネ等級4の取得を目指した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水型便器を採用し、節水に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広告物照明を行わないなど周辺への光害に配慮した。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される